

# れんけい だより

Vol. 74

国家公務員 横須賀共済病院 広報誌  
共済組合連合会

地域医療支援病院

救命救急センター

周産期母子医療センター

臨床研修指定病院

地域がん診療連携拠点病院

がんゲノム医療連携病院

神奈川 DMAT 指定病院

神奈川県災害医療拠点病院

DPC 特定病院群

病院機能評価(3rdGVer.1.1)



# 脳神経センター開設

## CONTENTS

脳神経センター開設

部長就任のご挨拶 ..... P 2

外科 部長就任のご挨拶 ..... P 3

新入職員歓迎祭 ..... P 4

TOPICS

救急救命士のご紹介 ..... P 6

TOPICS

医療従事者研修会 ..... P 7

診療科部長に聞く ..... P 8

国際医療交流事業 ..... P 10

医療機関訪問 ..... P 11

# 脳神経センター開設

## 外科・内科の力を合わせ、より良い診療体制を作ります。

横須賀三浦医療圏における脳神経疾患に対する治療体制の充実を図るべく、脳神経外科と脳神経内科を併せた脳神経センターを開設いたしました。

脳卒中の急性期診療は時間との戦いであり、各科の協力を必要とします。また、脳卒中急性期に関わらず、脳神経疾患には、外科・内科の垣根に捉われない視点や対応を必要とします。これまでも、脳神経外科・脳神経内科として、互いに協力しながら診療を行ってまいりました。脳神経センターの発足により、脳神経疾患の診断、治療をさらに充実させ、これまで以上に地域の皆様に貢献できるよう、一つのチームとして取り組んでまいります。

連携医の先生方におかれまして、よりよい地域医療のため、引き続きよろしくお願い申し上げます。



診療部長  
センター長  
田中 良英

## 脳神経外科部長就任のご挨拶



脳神経外科 部長  
綾部 純一

2022年7月より、脳神経外科部長を拝命しました綾部純一です。2008年に当院へ赴任し、15年目になりました。先生方を始めとする地域の方々に育てられ、現在に至ったことを、この場をお借りして深謝申し上げます。

この間、脳神経外科の治療は少なからず進歩してきました。世界の先端治療をcatch upしつつ、一人ひとりの患者さんに最善の治療を提供し、またこれを発信できるよう、精進を重ねていく所存です。

脳神経疾患では、個人や一病院で出来る治療には限りがあり、連携医の先生方や医療スタッフのお力を必要とします。より良い地域医療のため、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

### Profile

**出身校** 横浜市立大学 平成12年(2000年)卒

**認定資格** 日本脳神経外科学会専門医・指導医  
日本脳神経血管内治療学会専門医・指導医  
日本脳卒中の外科学会技術指導医  
日本脳卒中学会専門医・指導医

**専門分野** 脳神経外科手術、脳血管内治療、脳血管障害治療

# 外科部長就任のご挨拶

## 地域の基幹病院として高度、低侵襲、安全な外科診療を行っています

2022年4月より、外科部長を拝命いたしました野尻和典と申します。当科は消化器、乳腺、腹壁の疾患等を対象に手術治療・化学療法(抗がん剤治療)を行っています。神奈川県内でも有数の手術件数(年間1400-1500件)を誇っております。地域がん診療連携拠点病院として集学的治療を行い、地域医療支援病院として定時手術のみならず年間約300件の緊急手術にも対応しております。患者さんに負担の少ない腹腔鏡手術・ロボット支援下手術にも力を入れております。横須賀・三浦医療圏で安心して手術が受けられるようにスタッフ一丸となって診療に取り組んでおります。お困りの患者さんがいらっしゃいましたら遠慮なく御紹介ください。今後とも御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



外科  
野尻 和典 部長

### Profile

**出身校** 横浜市立大学  
平成12年(2000年)卒

**認定資格** 医学博士  
外科学会専門医・指導医  
消化器外科学会専門医・指導医  
消化器病学会専門医・指導医  
肝臓学会肝臓専門医  
肝胆膵外科学会評議委員  
消化器がん外科治療認定医  
がん治療認定医

**専門分野** 消化器外科、一般外科、肝胆膵外科、内視鏡外科を専門としています。

### スタッフの声

- ・いつも親身になって接してくれるので声をかけやすい
- ・日中夜間問わず何か困ったことはないかと声をかけてくれる
- ・「は〜い」のお返事が優しくて癒される
- ・ホワイトボードに図を書いて患者さんに分かりやすく説明している姿が素敵
- ・ダイエットのプロ
- ・整理整頓の達人



外科スタッフ(医師)

# 新入職員歓迎祭

感染対策を徹底した上で、新入職員歓迎祭を開催しました。

今回、病院が購入した飲食店（全21店舗）の商品を、参加した約920人の職員が主食・副食・デザートから各1品ずつ、思い思いに選べる楽しい会になりました。

新入職員には、長堀病院長・豊田副院長・小池看護部長・畑事務部長より、一人ひとりにエールを込めて直接手渡しで、当院ロゴ入りオリジナルクッキーをプレゼントしました。



# 救急救命士のご紹介

聞かせて!

救急救命士

略歴

国士館大学  
平成 25 年 (2013 年) 卒

認定資格

医師事務作業補助者  
神奈川 DMAT-L 隊員  
ITLS・Advanced・Padiatric  
instructor



救急救命士  
平岩 竜之介

はじめまして。今年 4 月より横須賀共済病院で勤務しております救急救命士の平岩と申します。救急救命士が医療機関に勤務していることに対して違和感をもたれる方も多くいらっしゃるかと思います。2021 年 10 月に救急救命士法が改正され、救急現場で認められていた救急救命処置が医療機関内でも実施可能となりました。

私の主な業務として、救急外来で医師・看護師とともに初療業務を行っております。

また、医師事務作業補助者資格を取得しているため、書類作成等の医師業務のタスクシェアも担っています。今後地域医療機関の皆様には、当院への受入確認の電話対応やこちらから診療情報の問い合わせ等で、連携をとる機会が増えていくと思います。

医療機関に勤務する救急救命士として、皆様とうまく連携を図ることによりスムーズな患者受入や診療に繋がっていきたく思いますので、お見知りおき頂きご協力の程宜しくお願い致します。

高度専門的治療を、  
24 時間体制で速やかに提供。



## 救急科医師メッセージ



救急科 部長  
土井 智喜

日頃より病病・病診連携では大変お世話になっております。

今年 4 月より病院救急救命士 1 名が救急科に採用となったことをご紹介させていただきます。病院救急救命士の認知度はまだ低いですが、「医師の働き方改革」だけでなく、院内のタスク・シフト/シェアにも活躍できる職種です。

新しいメンバーも加わり、更に安心安全な救急医療を提供できるよう努めて参ります。

またこの場を借りて、令和 3 年の年間受入救急車搬送人員 11,455 人で、全国救命救急センター 2 位の実績となったことをご報告させていただきます。コロナ禍の影響を受けながらも「地域医療を守る砦」として、病院一丸となり邁進した結果と理解しております。

今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願いたします。

# 医療従事者研修会

第 1 回 研修会の開催報告

2022 年 6 月 16 日認定看護師による、医療従事者研修会を  
ハイブリット形式で、開催しました。

会場には 12 人の方にご来場いただき、WEBでは 48 人の方にご視聴していただきました。

## 「新型コロナウイルス第 6 波を経験して」について



感染管理認定看護師  
下川 結花

日々お忙しい中、沢山の地域の皆様に参加頂き感謝いたします。

2020 年初めより新型コロナウイルス感染症対策を開始して 3 年目に入ります。第 1~6 波と繰り返し流行を経験し、感染対策の知識が培われ、様々に変化した生活様式に対応されていると思います。

しかし、現時点では新たな変異株の出現もあり、新型コロナウイルス感染症が 0 になる事はありません。そこで日頃の感染対策を習慣化させていく事が重要です。

今回は、これまでの経験を次に活かす事を中心としてお話をさせて頂きました。

感染対策の目的は、「感染させない」「感染しない」この 2 点が重要です。

そのためには、感染対策を正しく理解し実践する事が必要となります。全ての対策は標準予

防策が基本であり、日常的に『手指衛生(手洗い)』『防護具着用(マスク・手袋・ゴーグル・ガウン等)』を行う事で自分自身を守る事に繋がっています。現在、オミクロン株が主流となっています。症状の多くは、発熱・咳・鼻水・咽頭痛などです。無症状の場合もあります。流行株は変化しますが、基本的な感染対策は標準予防策+飛沫感染対策+接触感染対策です。

2022 年 7 月、感染者が急増しまさに第 7 波の真只中です。陽性者・濃厚接触者の対応は第 6 波とかわりません。引き続き日常的な感染対策を行う事、健康管理に努め症状がある時は早期に受診する事が重要です。特に換気は重要です。換気は対角線上に空気の流れを作る事が有効となります。

猛暑の中ではありますが、密閉環境によるウイルスの停滞を防ぐ事ができます。また、感染しやすい場面を意識した日頃の行動が、「自分自身」「大切な人々」を守る事に繋がっていきます。

今後も引き続きの感染対策をお願いいたします。



## 「重症化予防」について

平素より大変お世話になっております。私からは「重症化予防～日常ケアで気をつけること～」についてお話しさせていただきました。在宅での重症化予防で重要なことは①生活習慣病等の持病がある患者さんが日々健康管理できること②状態変化の早期発見と対応の 2 点です。

生活習慣病がある方は、様々な要因から重症化リスクがあります。風邪など病気が悪化して重症化したとき、それを早期発見するためには、患者さんから発せられるサインを見逃さないことが重要です。そこで問診・視診・触診・聴診のポイントを紹介させていただきました。今回聞いて頂いた「TOSS」などを、実践の場でも役立てて頂けると幸いです。またバイタルサイン測定では、

生体反応として最初に変化する呼吸数の測定が大事です。特に 22 回/分以上の頻呼吸が持続する時には、なにかしらの異常が起きていると考えます。

「患者さん、少し変だな」という気づきに大切なのは、いつもの患者さんの様子や全身状態を知っておくこともとても大切だと思います。これらを総合的に判断して早期に対応することが、日々の重症化予防につながると考えます。沢山の地域の皆様にご参加頂き、感謝致します。



集中ケア認定看護師  
中山 彩

# 診療科部長

第19弾

拡大版 形成外科

## に聞く

横須賀共済病院

### 「頼りになるね」を 目指します。

形成外科 部長  
北村 理絵子



#### 形成外科のウリについてお聞かせください。

当院で形成外科が常勤体制になって今年で17年目になりました。当初は2名体制でしたが現在は3名体制で診療を行っています。

形成外科は体表外科、皮膚の外科、見た目の外科とされています。扱う疾患は①皮膚の腫瘍(良性・悪性)②熱傷・外傷、③体表の先天異常、④美容に大きく分類されます。しかし実際はこの分類に当てはまらない疾患もあり、扱う疾患が多いのが特徴です。

腫瘍切除後や外傷による組織欠損の再建も当科で扱うため、他科との合同手術が多いのも特徴です。最近では乳房再建が増加しています。他、なぜか涙道狭窄も増加している疾患の一つです。従来から多かった眼瞼下垂や腋臭症などと合わせ、これらの疾患は、他人が思っている以上に患者さん自身がとても悩んでいると感じています。元々自分は「心の傷をメスで治す」という形成外科の心得に共感し、この科を選びました。治療にあたっては、患者さんの訴えを良く聞き、患者さんの生活スタイルまで考えた術式を選択するようにしております。

症例の相談があればできるだけ「断らない」方針で、治療法を検討するようにしております。

おかげ様で形成外科の受診患者は年々増加しており、手術症例も年間700～800例で推移しております。皮膚科や形成外科に限らず、多くの科の先生方からの紹介を承っています。先生方へのかかりつけの患者さんで「ちょっと気になる」訴えがあったら是非当科を思い出してください。

#### 最近のプライベートの楽しみを教えてください。

キャンピングカーでの旅行。元々犬好きだったので、愛犬と気兼ねなく旅行できると思い8年前に購入したキャンピングカーですが、その機動性の良さに感動し、現在2代目です。思い立ったら出発。行き先も天気によって変更したり、自由な旅が楽しめます。最近車中泊が増え、世間からの目が冷たくなったのが悩み。マナーは守ります。



#### 地域の先生方にメッセージをお願いします。

「親しみやすい」「相談しやすい」を心がけています。紹介して良かったと言って頂けるよう努力しますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

#### Profile

出身校  
北里大学  
平成5年(1993年)卒

学会専門医資格  
形成外科専門医  
レーザー専門医

専門領域  
乳房再建、再建外科、形成外科一般

## 形成外科医師インタビュー

医師  
坂田 芳洋



日頃より多くの患者さんの紹介ありがとうございます。形成外科領域における多種多様な疾患の手術や施術、処置など幅広く対応できることを目標としております。患者さんのニーズにあわせた治療を行っていくうえで先生方のご指導・お力添えは大変有り難く思っております。今後も横須賀地域の医療レベルの向上に精進して参りますのでよろしくお願いいたします。

専門領域  
形成外科一般

経歴  
北里大学 医学部  
平成28年(2016年)卒

医師  
鈴木 沙貴



日頃より多くの患者さんのご紹介ありがとうございます。日々の診療においては診療科の垣根を越えた地域の先生方との連携の重要性を強く感じております。至らない点多いかと存じますが、地域医療に貢献できるよう精進して参ります。よろしくお願いたします。

専門領域  
形成外科一般

経歴  
福島県立医科大学  
平成31年(2019年)卒



横須賀共済病院 YouTube

第5弾

## もう悩まない 日焼け対策

私たちに形成外科医が  
お話しします。



ぜひ見て下さい!



YouTubeはこちらから  
いますぐ使える情報をお伝えする!



YOKOSUKA KYOSAI HOSPITAL

# international medical exchange program

国際医療交流事業

## ~Vietnam Exchange Record~

~ベトナム交流記~



国際交流チームリーダー 診療部長 兼 脳神経センター長  
**田中 良英**

長かったコロナ禍もようやく明るい兆しが見えてきました。ベトナムとの医療交流事業も2年半の中断の末、ようやく再開することが出来ました。外国医師臨床修練制度\*に基づきイエンバイ総合病院からダオ・ディン・フン先生が来日し6月8日より脳神経外科にて6ヶ月間の修練が開始されました。イエンバイ省の中心地イエンバイ市はハノイから約150km北に位置し人口約70万人が生活しております。この総合病院は700床を有し地域の中核的役割を担っており、院内では独立した脳神経外科はまだ設立されていませんが、フン先生の留学を機会に院内で脳神経外科治療が確立されることを願っています。

### \*外国医師の臨床修練制度・・・

「医療分野における国際交流の進展と発展途上国の医療水準の向上に寄与することを目指し、医療研修を目的として来日した外国医師等に対し、その目的を十分に達成することができるよう、当該研修で診療を行うことを特例的に認める制度。(医師法第17条等の特例等に関する法律)」



### Dao Dinh Hung 医師

Konnichiwa!  
Hello everyone, hello beautiful and famous country, Japan. My name is Dao Dinh Hung, I am a neurosurgeon from Yen Bai Province General Hospital, Vietnam. I am really excited and happy to be able to study and research at Yokosuka Kyosai Hospital, Japan. I know that coming here I will be able to work with very good and professional doctors in a professional working environment. "All for the patients!". I think I will not only learn advanced technical neurosurgery, but also learn this very unique working style. I promise to do my best, I will not miss any moment to study and exchange experiences with neurosurgeons and the most important thing I will be immersed in Japanese style at work. I hope to be a symbol in the long-term cooperation between Yen Bai Provincial General Hospital and Yokosuka Kyosai Hospital.  
My sincerely!

DAO DINH HUNG

こんにちは!

美しく有名な国、日本の皆様初めまして。私の名前はダオ ディン フンで、ベトナムのイエンバイ省にありますイエンバイ省総合病院で脳神経外科医として働いております。この度日本の横須賀共済病院の臨床修練医として修練できることとなり、大変喜ばしくワクワクが止まりません。横須賀共済病院での修練では、専門的な環境かつ専門性の高い医師とともに勉強ができております。また私は脳神経外科の高度な技術を学ぶだけではなく、「すべては患者さんのために」という日本の独特な働き方(ホスピタリティ)も学んでおります。

この臨床修練中、自分の最善を尽くすことを約束します。横須賀共済病院の脳神経外科での学びや経験をすべてモノにし、一番重要と考える日本の働き方(ホスピタリティ)を胸に刻みます。横須賀共済病院とイエンバイ省総合病院の国際協力の長期発展の象徴になれるようこれからも頑張ります。

ダオ ディン フン

## 医療機関訪問



### 西尾 整形外科・内科

【新規開業 2021年9月21日】

院長の西尾進也と申します。1990年に東京医科大学を卒業後、同大学衛生学・公衆衛生学教室(現:健康増進スポーツ医学分野)に入局、運動生理学、筋エネルギー代謝についての研究で学位を取得し、生活習慣病に対する運動療法・運動処方についても学ばせて頂きました。

その後も、大学病院で循環器内科/麻酔科の研修をさせて頂き、これらが私の医師としての方向性、礎になっております。その後は運動指導における整形外科疾患管理の重要性を感じ、同大学整形外科学教室に“学内留学”の形で常勤させて頂き、そのまま整形外科に携わる期間が長くなり、結果として整形外科で専門医を取得、現在に至ります。少々奇な経過を辿りましたが、無駄なことは一切無かったと自負しております。

非常勤を合わせると横須賀には約20年間勤務してまいりましたが、2021年09月に京急長沢駅近くに開業し、同時に運動療法施設(N's Medical Gym)を併設しました。近隣の皆様の健康増進/一次・二次予防を目指します。コロナ禍最中の開業で、大胆な広告や近隣の先生方への挨拶も手薄となりましたが、不眠ながら当紙面を以て挨拶に代えさせていただきます。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



### こうようクリニック【在宅医療】

【新規開業 2022年5月1日】

令和4年5月に横須賀市小川町に訪問診療のためのクリニックを開院いたしました。山下航と申します。

平成24年に北里大学医学部を卒業し、一般消化器外科の医局に所属しておりました。

令和2年に都内の訪問診療クリニックに籍を移してから在宅医療の現場を経験し、故郷である横須賀に貢献したいと思い開院することにいたしました。

通院ができない理由は様々であり、その人、その家庭、周辺環境等の要因が絡み合ったものだと考えております。要因一つひとつを解決してからの医療提供ではなく、医療提供をしつつ環境を整えることが安心した療養生活に繋がると私は考えております。

横須賀で安心して療養生活を続けられる環境づくりに貢献できるよう精進していく所存です。何卒、御指導御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



院長 山下航先生



# TANABATA 七夕

本格的な夏の始まり、いよいよ夏本番ですね。  
あゆみ保育園では、かわいい願い事が書かれた短冊が風に揺られていました。  
みんなの願い事が叶いますように。



## 退職医師 2022年6月30日付

■ 外科 …… 岡野 菜由

## 理 念

よかった。  
この病院で

患者さん・家族・職員  
すべての人が安心できる  
病院をめざします

## 編集後記

今年は、梅雨を感じることなく突然夏がやってきましたね。  
皆さんは今夏、手持ち花火をされましたか？  
勢いよく火花を吹き出す花火を存分に楽しんだ後は、やっぱり線香花火ですね。  
最初の玉のような状態から、パチパチと音をたてて元気よく火花を散らし、やがて穏やかに火玉が燃え尽く姿が魅力的です。  
私たち人も、人生には起伏がありますが、必ず落ち着く頃を迎えるのだと思います。  
“今、この瞬間”を大切に、たくさんの方の幸せを見つけながら過ごしましょう。  
今後とも、横須賀共済病院とれんけいだよりをよろしく  
お願いいたします。

地域連携室 山田・宮坂・加藤

## 国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16  
TEL 046-822-2710 (代表) FAX 046-825-2103 (代表)

## 地域連携センター地域連携室

TEL 046-827-1117 (直通) FAX 046-823-5020 (直通)

## YKH れんけいだより

vol.74

発行日：2022年(令和4年)8月26日  
編 集：地域連携センター地域連携室